

衆議院内閣委員会公聴会ニュース

平成 22.4.28 第 174 回国会第 1 号

4 月 28 日（水）第 1 回の公聴会が開かれました。

- 1 国家公務員法等の一部を改正する法律案（内閣提出第32号）
国家公務員法等の一部を改正する法律案（塩崎恭久君外 4 名提出、衆法第 9 号）
幹部国家公務員法案（塩崎恭久君外 4 名提出、衆法第 10 号）

・公述人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（公述人）株式会社みずほフィナンシャルグループ取締役会長	前 田 晃 伸君
政治評論家	屋 山 太 郎君
早稲田大学政治経済学術院教授	稲 継 裕 昭君
兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科准教授	中 野 雅 至君
都留文科大学文学部教授	進 藤 兵 君

（質疑者及び主な質疑内容）

緒 方 林太郎君（民主）

- ・パーキンソンは公務員は仕事を増やしていく旨のことを言っているが、これについて前田公述人の所見を伺いたい。
- ・内閣人事局には、役所の権限争いを避けるため、どういった人材を置くのがよいか、稲継公述人の所見を伺いたい。
- ・同期横並び人事について前田公述人及び屋山公述人の所見を伺いたい。
- ・肩書きをシンプルにすることについて稲継公述人の所見を伺いたい。

井 上 信 治君（自民）

- ・民主党がマニフェストで明示した公務員の総人件費の 2 割削減は本当に可能なのか。不可能であればどうしたらいいのか。屋山公述人及び中野公述人の所見を伺いたい。
- ・鳩山内閣の下で、あっせんを行わないで 1,200 人余りに対し早期退職勧奨が行われたということだが、この点について屋山公述人の所見を伺いたい。

高 木 美智代君（公明）

- ・天下りの根絶について屋山公述人、稲継公述人及び中野公述人の所見を伺いたい。
- ・事務次官級、局長級及び部長級を同一の職制上の段階に属するとみなす、幹部職員人事の弾力化の適用に当たっては、第三者機関の関与が必要だと思うが、前田公述人の所見を伺いたい。

- ・事務次官等の幹部職員の位置付け及び役割について検討項目となっているが、検討の在り方、考え方について稲継公述人及び中野公述人の所見を伺いたい。

塩 川 鉄 也君（共産）

- ・公務員の専門性の低さが問題となった具体的事例と専門性を高めるにはどうしたらよいかについて進藤公述人の所見を伺いたい。
- ・総人件費の 2 割削減によるマイナスの影響論について進藤公述人の所見を伺いたい。
- ・防衛省自衛隊の天下りの特徴について中野公述人の所見を伺いたい。
- ・防衛省自衛隊の若年定年制隊員の行為規制を同省内の審議会が監視することについて各公述人の所見を伺いたい。

山 内 康 一君（みんな）

- ・公務員の労働基本権の拡大について屋山公述人の所見を伺いたい。
- ・公務員の公正・中立性の確保のため人事院を強化すべきとの考え方があるが、屋山公述人の所見を伺いたい。
- ・元内閣官房副長官補であった坂氏が日本郵政株式会社の副社長に選任されたことについて屋山公述人の所見を伺いたい。
- ・事務次官の廃止について前田公述人及び屋山公述人の所見を伺いたい。
- ・再就職に係る事前規制について中野公述人の所見を伺いたい。